



2025年5月15日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2025年4月15日に開示した2025年9月期(2024年10月1日~2025年9月30日)の通期連結業績予想数値を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(2024年10月1日~2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	EBITDA	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 56,000	百万円 200 ~700	百万円 450 ~950	百万円 2,100 ~2,600	百万円 △450 ~50	円 銭 △24.96 ~2.77
今回の修正予想(B)	53,000	△200 ~300	50 ~550	1,700 ~2,200	△850 ~△350	△48.92 ~△20.14
増減額(B-A)	△3,000	△400	△400	△400	△400	—
増減率(%)	△5.4	△200.0 ~△57.1	△88.9 ~△42.1	△19.0 ~△15.4	-	—
(参考)前期実績 (2024年9月期)	51,711	1	366	1,775	△3,190	△179.75

2. 修正の理由

当社は前回2025年4月15日に発表した2025年9月期の連結業績予想について、第2四半期までの進捗状況と第3四半期以降の見込みを元に通期見通しを精査した結果、来期を含めた中長期での売上高及び利益の再成長には引き続き強い自信を持っているものの、当期については前回発表した業績予想の修正が必要であると判断いたしました。具体的には以下の要因により、売上高、営業利益、経常利益、EBITDA、及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

- ・第2四半期まで) 全体として、業績予想と大きく乖離なく売上高、EBITDAともに順調に推移

・北米事業) 直販売上高の回復遅れによる売上高、売上総利益の予算未達と、足元の北米景気の先行き不透明さによる売上高、売上総利益圧迫の懸念

・インフルエンサーマーケティング事業) 第2四半期までに引き続き売上高、売上総利益が予算及び前年同四半期を下回る見込み

・日本事業) 下期以降の動画・Connected TV 領域の商流変更等による、売上高、売上総利益減少の懸念

また、販売管理費の抑制により一定の損益改善効果は見込まれるものの、売上高の下方修正に伴い、各段階利益(営業利益、経常利益、EBITDA、及び親会社株主に帰属する当期純利益)についても影響が生じることから、上記のとおり修正することといたしました。

なお、為替レートの変動については引き続き経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の大きな変動要素として残りますが、今回発表の業績予想値はドル円レートを前期末(2024年9月30日)時点の約142円水準から変わらないことを想定して算定しました。今後も引き続き、為替変動並びに国内外の景気動向により当社業績見通しの変動し、通期業績予想の修正が必要となった場合、速やかに開示する予定です。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上